



**令和4年度(2022年度)**

## **第6回**

# **川口中学校区地域づくり推進会議**

**令和4年(2022年)12月17日(土) 9:30~12:00**

**川口中学校1階 被服室**

**八王子市 未来デザイン室  
株式会社アール・ピー・アイ**



# 本日のプログラム

会場  
川口中学校1階 被服室

## 1 開会

## 2 本日の議題確認

## 3 議題

(1)地域づくりフォーラムの振り返り **【10分】**

(2)運営担当打ち合わせの報告 **【5分】**

(3)部会の構成と今後の推進会議のあり方を検討しよう **【60分】**

<休憩> 10:50~11:00

(4)アクションプランの内容を検討しよう **【60分】**

(5)活動・情報の共有 **【5分】**

## 4 閉会

### 【配布資料】

資料1 地域づくりフォーラム意見交換内容

資料2 地域づくり推進計画(改訂版)(案)

### 【第7回の開催日程等】

令和5年(2023年)2月18日(土) 9:30~12:00(予定) 川口中学校1階 被服室

### 3 議題

#### (1)地域フォーラムの振り返り **【10分】**

- ・ 11月26日(土)に開催した地域フォーラムには、24人の参加者がありました。
- ・ アクションプラン案や推進会議のしくみに対して、以下のような意見が出ました。

#### アクションプランについて

活動	ご意見・提案
コミュニティ カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動が多くて驚いた ＜構成、編集＞</li> <li>・エリアごとにわけると、見やすいし、関心を持ちやすいかも</li> <li>・カレンダー形式にしてはどうか</li> <li>・白黒印刷で、文字が多いため見ない ＜配布・発信方法＞</li> <li>・1世帯ごとに配布してはどうか</li> <li>・TwitterやInstagramなどSNSで発信してほしい</li> <li>・親のスマホに来ても見ないので、子どもに直接発信してほしい ＜参加＞</li> <li>・発信者として中学生、高校生に手伝ってほしい(生徒会、ボランティア部)</li> </ul>
マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出店者のネットワークづくりが重要</li> <li>・小中学生のボランティアの場になる(出店、ゴミ拾いなど)</li> <li>・開催できる場所が限定される</li> <li>・上川町は独自で開催しており、ノウハウがある</li> </ul>
災害に強い まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる人が危険な場所を知ることが大事</li> <li>・推進会議として、地域住民向けに話をしてはどうか</li> <li>・防災マップを中学校の授業で取り上げる</li> <li>・(高齢者の避難支援など)中高生の力を活かす</li> </ul>
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動資金として、東京都の助成金などを有効活用する</li> </ul>

#### 推進会議について

活動	ご意見・提案
若い世代の 参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの手伝いなど、役割がはっきりあれば参加できる</li> <li>・中高生を登録して参加してもらう:進学や就職に有利になる、ポイント制など、参加しやすいしくみにする</li> <li>・スポーツ紹介、体験会など、子どもに教える活動はできる</li> <li>・地域活動と学校の部活は連携できるのではないかと(学校との連携)</li> <li>・地域の伝統芸能に子どもが参加しているが、子どもの減少で継承が心配</li> </ul>
推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会ではなく、地域中心のプラットフォームづくりが重要</li> <li>・ネットワークづくり、相談できる関係づくりがよい</li> <li>・地区が広く特徴や課題が異なる→プラットフォームでの情報交換・共有が重要</li> <li>・町会や住民協議会がある中で、母体となる組織は少ないほうがよい</li> <li>・法人化が必要:NPOなど</li> </ul>
活動への 参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見返りがないと参加しにくい、誘いにくい←→楽しみ、きっかけが大切</li> <li>・単発のボランティアならできるかも</li> </ul>
その他の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便が悪い:バスなど公共交通が充実すれば人口が増えるのではないかと</li> <li>・空き家の活用:マルシェ、サロン、居場所など。自習室や勉強場所にも使える</li> </ul>

### 3 議題

#### (2)運営担当打ち合わせの報告 【5分】

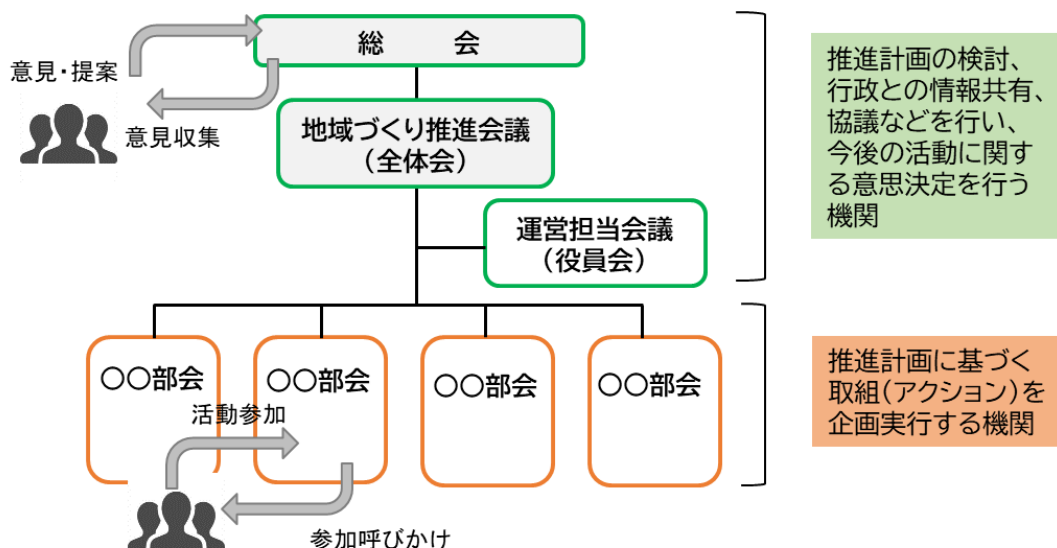
- ・ 地域づくりフォーラムの意見・提案などをもとに、アクションプランや推進会議のしくみなどに関する打ちあわせを12月1日(木)に行いました。

項目	主な内容
アクションプラン	<p>○防災に強いまちづくり:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自主防災組織、町会・自治会、消防団等があるが、個々の活動なので、推進会議がプラットフォームとなって連携する場を設ける必要がある</li><li>・町会・自治会に入っていない人にも災害情報や危険箇所などの情報が行き渡るようにオール川口で取り組む必要がある</li><li>・推進会議では、事務局案をもとに意見を出しあい、プランの中身を整理する。行政との連携が必要なことの洗い出しを行う</li></ul>
推進会議のしくみ	<p>○推進会議の体制検討:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次年度の推進会議、部会への参加について、1月に意向確認を行う</li><li>・所属団体の役職(あて職)で参加している人は、役職交代の際に次の人に申し送りをするルールを設けてはどうか</li></ul> <p>○部会の体制:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・協力者、マンパワーを増やす取組が必要</li><li>・アクションプランの内容、具体的な取組が決定したら、地域フォーラムの参加者を対象に、活動内容を提示して参加を働きかけてはどうか</li><li>・複数の部会に参加できるようにする(メイン、サブの区分けは必要)</li></ul> <p>○次年度の活動に必要な事項の洗い出し:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次年度以降の推進会議に必要な「人・物・金・場所」を確保したい。無償では、今年度までのような活動は難しいのではないか</li><li>・市は、推進会議に対して、何をどこまでやってほしいのか、そのための予算や職員の配置をどうするのか</li><li>・第6回推進会議では、会議メンバーが主体となって推進会議を運営するため何が必要かを洗い出すとともに、行政に対応してほしいことを整理する</li></ul>

### (3)部会の構成と推進会議のあり方を検討しよう 【60分】

#### ア 推進会議の体制に関する確認

- 下図のとおり、令和5年度(2023年度)以降の体制を決定しました(確認)。



#### イ 部会の構成、役割の検討

- アクションプランの追加に伴って、部会の構成、役割を全体で検討します。
- 部会構成の変更に伴い、部会メンバーの再編成、充実への意向を確認します。

#### 【部会の構成・役割案】

アクションプラン	地域のプラットフォームづくり		災害に強いまちづくり	未来につながる学校づくり(仮)
部会名称	コミカレ部会	マルシェ部会	地域防災部会	公共施設部会
目的	・イベント参加をきっかけとした担い手発掘 ・活動団体の相互理解による団体間連携や共同実施等の推進 ・多世代交流の推進	・地域で活動するさまざまな人がつながる機会をつくる ・地域の担い手の掘り起こしや育成につなげる	・防災知識を身に着け、災害に備える ・災害時に助け合えるつながりをつくる ・取組を通じた地域の担い手の発掘、育成	・地域の核としての未来の学校のあり方や施設の利用方法について考える
概要	・見やすく楽しい地域のカレンダーをつくる ・情報の収集、編集、発信について、オンラインを活用したデジタル化を進める	・地域で活動するさまざまな団体、住民がモノや情報を持ち寄るマルシェを定期的開催する	・ハザードマップ(作成含む)、避難場所情報、備蓄品等の情報を収集、発信 ・防災訓練、防災教室等の実施	・地域住民や活動団体と行政の関係者で構成する「公共施設部会」を設置し、情報共有や意見交換を行う
取組	コミカレの作成・活用	マルシェの開催	災害に関する情報の整理・共有 防災に関する教室やイベントの開催	部会での意見交換

R4年度までの  
既存取組

R5年度からの  
新規取組

## ウ 令和5年度(2023年度)からの活動に関する意見交換

- 令和5年度(2023年度)からの推進会議の進め方の想定

- 推進会議(部会)を中心に、アクションプランを企画・実行する
- 地域が主体となって推進会議の運営や活動を進める
- 様々な団体・住民が加わり、情報共有や活動の連携を進める

- 地域主体で運営していくにあたって、以下の表にあるような連絡窓口、推進会議(全体会)の活動のあり方、部会活動などについての今後の方針を確認しましょう。
- 以下の表は、第5回推進会議や地域フォーラムで出た意見・指摘事項を基に作成しています。それぞれの意見・指摘事項に対する方針(案)について、全体で検討します。

項目	意見・指摘事項	方針(案)
連絡窓口	推進会議に関心ある人のための連絡窓口がない	メールアドレスをつくり、市HP等に掲載する(⇒管理者を決める)
	SNSを活用した情報発信	アカウントをつくる、発信内容などに関するルールを決めて運用する(⇒管理者、投稿方法を定める)
連絡体制	参加者同士が連絡を取り合うための決めごとやデータ等を共有する手段	役員会から各部会の連絡手段を活用して情報共有する
		SNS等による連絡やクラウドでのデータ共有、オンライン会議を活用する
		市民センター掲示板等で情報伝達をする
推進会議(全体会)	推進会議メンバーの追加や変更	・人数上限や多様性等をふまえて検討する
	推進会議に入っていない地区や団体の意見、住民の意見反映	・参加を呼びかける ・アンケートを実施し、意見を収集する
	参加者の所属団体からの意見収集とそれを推進会議に反映するしくみ	・推進会議内容について、所属団体へ報告、周知を行うことから改めて始め、それに対する意見等を集約する
	開催の頻度・タイミング	・2か月に1回を定例会とし、新たな地域課題に関する検討や部会報告などを行う(⇒必要に応じて、臨時会を開催する)
	参加しやすい工夫	・働いている人も参加しやすい開催方法や開催時間の検討 ・オンライン参加の許容(リモート参加が便利な一方で、発言機会減少等のデメリットも考慮しながら運用を検討)

(次頁につづく)

項目	意見・指摘事項	方針(案)
部会活動	部会に新しい参加者を増やしたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加希望者は原則拒まない</li> <li>・部会への新規参加者の追加状況は、推進会議全体会に共有する</li> </ul>
	新しい団体や住民が、部会に参加しやすくなるような工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分的な関わり方の選択肢を設定し、部会への多様な関わり方を許容する</li> <li>・関わり方のバリエーションを増やし、部会活動の裾野を広げていくことにもつなげていく</li> </ul>
	部会内の連絡、情報共有、打ち合わせの方法や頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会ごとに検討する</li> </ul>
	打ち合わせなどのために集まる場所や会議資料の印刷等をどうするか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の身近な施設(集会所や学校など)を使用する(⇒必要に応じて、未来デザイン室や相談機関に相談する)</li> <li>・未来デザイン室による会議資料の印刷は可。DX推進の観点からペーパーレス化もあわせて検討する</li> </ul>
	部会同士の情報共有、互いの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会の代表で役員会(運営担当会)を構成し、部会間で共有するとともに、必要に応じて全体会でも共有、検討の時間を設ける</li> </ul>
体制構築	活動に必要なお金の調達や活動で得たお金の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都、八王子市、民間団体も含めた各種助成等の活用する</li> <li>・会計や金銭管理は検討課題</li> </ul>
	自立的、持続的な活動のための「組織」「法人」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討課題</li> <li>・各種の組織やNPOなどを調べる(地域の既存団体へのヒアリング等)</li> </ul>

## (4)アクションプランの内容を検討しよう 【60分】

- 第5回推進会議での検討、地域づくりフォーラムでの意見・提案をふまえて、アクションプランの内容の詳細について検討します。

※ 資料1「地域づくりフォーラム意見交換内容」、資料2「地域づくり推進計画(改訂版)(案)」を参照。

### 【令和5年度から取り組むアクションプラン】

地域のプラット  
フォームづくり

災害に強いまちづくり

未来につながる  
学校づくり

コミカレ部会

地域防災部会

公共施設部会

マルシェ部会

※ 担当所管と調整中。調整終了次第、改めてご意見を伺い、決定。

### ア グループごとの検討

- 上記の各アクションプランの部会ごとに、仮のグループに分かれ、話し合います。  
※ 令和5年度(2023年度)からの部会への所属に関する意向確認は、別途行います。

#### <検討のポイント>

- 実施時期、実施回数
- 既存の活動との連携 ⇒ 協力体制、仲間づくりの声かけ
- 他の部会との調整、連携が必要なこと
- 実施するために調整、準備、協力が必要なこと

### イ 全体共有

- 各チームで話しあった内容を発表します。その上で、追加・変更など、その他の提案があれば出しあいます。

#### <参考> 地域づくり推進計画(改訂版)の策定スケジュール

令和4年(2022年)12月 第6回推進会議(アクションプラン内容検討)

令和5年(2023年)1月 事前ワーク(推進計画の内容確認)

令和5年(2023年)2月 第7回推進会議(推進計画の最終確認)

※ 必要に応じて、第7回推進会議後に、別途確認をお願いする場合があります。



## (5)活動・情報の共有 【5分】

- 部会の取組状況、その他の情報について全体で共有することがありましたら、報告をお願いします。

### 推進会議参加者

氏名	所属
荒井 冨雄	地域住民(会社役員)
荒木 紀行	川口地区町会自治会連合会
稲原 恵美	川口小学校PTA
大石 宗典	美山小学校PTA
久保 芳男	地域住民(川口町東部町会 会長)
白鳥 豊彦	自営業
白鳥 信行	川口福寿草の会
高野 重春	川口やまゆり住民協議会
田倉 聖一	川口中学校学校運営協会
外山 朋子	川口小学校PTA
内藤 佳代子	川口中学校PTA
内藤 妙美	地域住民(青少年対策川口地区委員会)
内藤 トシ枝	民生児童委員第9地区
中尾 直子	松枝小学校PTA
中村 八重	地域住民(主任児童委員)
平井 和枝	市民活動協議会
古田 哲夫	上川口小学校学校運営協議会
前川 千鶴	青少年対策川口地区委員会
安田 美樹子	上川口小学校PTA
山口 茂	地域住民(NPOからまつ)